

MUTOH

取扱説明書

**OPERATION
MANUAL**

ValueJet Print Server

ご使用前に必ずお読みください

目次

1	はじめに.....	1-1
2	ご利用の際の注意点.....	2-1
2-1	準備.....	2-1
2-2	ソフトウェア RIP の設定.....	2-1
2-3	注意事項.....	2-2
3	ご利用方法.....	3-1
3-1	設定ユーザーインターフェースについて.....	3-1
4	設定画面について.....	4-1
4-1	起動方法.....	4-1
4-2	設定切り替え操作.....	4-1
4-3	動作状況タブ.....	4-3
4-4	接続設定タブ.....	4-4
5	制限事項.....	5-1
5-1	RIP と分光光度計 (SPECTROVUE) を組み合わせてご利用の場合.....	5-1
6	トラブルシューティング.....	6-1
6-1	設置・導入時のトラブル.....	6-2
6-2	作画に関するトラブル.....	6-4

1 はじめに

ValueJet Print Server は ValueJet の性能を向上させるアプリケーションです。

本書では ValueJet Print Server の操作方法についてご説明致します。

インストール手順と推奨環境については、インストールマニュアルをご参照ください。

2 ご利用の際の注意点

2-1 準備

ValueJet Print Server は、インストールされた PC 上で、プリンタとして動作します。
現在ご利用の RIP ソフトの IP アドレスの設定を ValueJet Print Server をインストールした PC の IP アドレスに書き換える事で ValueJet と RIP の間の印刷データを中継します。

図 1 ValueJet Print Server 導入前

RIP からプリンタに直接印刷します。

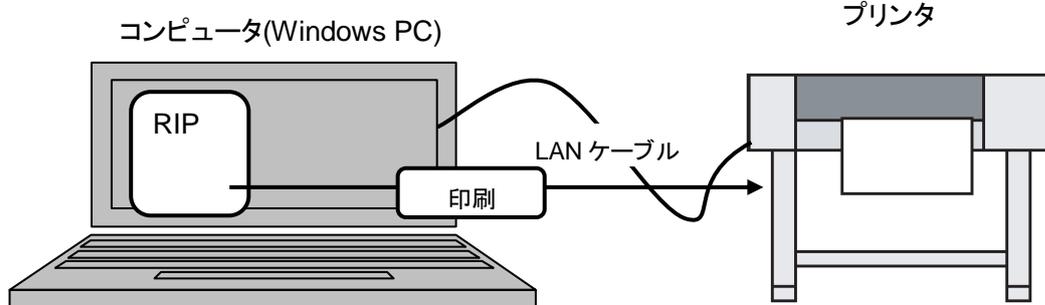
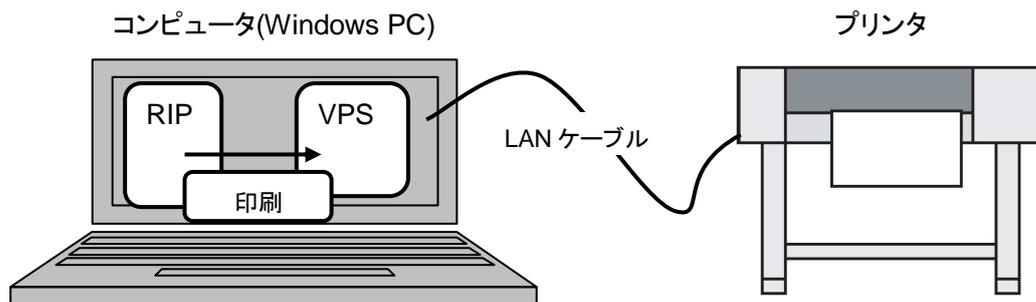


図 2 ValueJet Print Server 導入後

RIP から ValueJet Print Server (VPS) に印刷します。ValueJet Print Server は受けたデータを最適化しプリンタに送ります。



2-2 ソフトウェア RIP の設定

ご利用のソフトウェア RIP のプリンタの IP アドレスの設定を ValueJet Print Server がインストールされている PC の IP アドレスに変更します。

設定方法については RIP に付属のマニュアルを参照ください。

2-3 注意事項

- ValueJet Print Server の操作、インストールにはコンピュータの管理者 (Administrator) 権限が必要です。
- 印刷時に Windows のタスクマネージャー等により Gigabit Ethernet 接続で印刷されている事をご確認ください。(VJ-1638/VJ-1638W を除く)
- その他につきましては、インストールマニュアルの“動作環境”をご参照ください。

3 ご利用方法

3-1 設定ユーザーインターフェースについて

操作にはコンピュータの管理者 (Administrator) 権限が必要です。

インストール時に IP アドレスが正しく設定されていれば特にユーザーインターフェースの操作は必要ありません。

注 記

- **4-4 接続設定タブ**のサービス起動設定が、「自動起動する」になっていない場合は、コンピュータの電源を入れる毎に、開始操作が必要になります。
開始動作については **4-3 動作状況タブ**をご参照ください。

4 設定画面について

4-1 起動方法

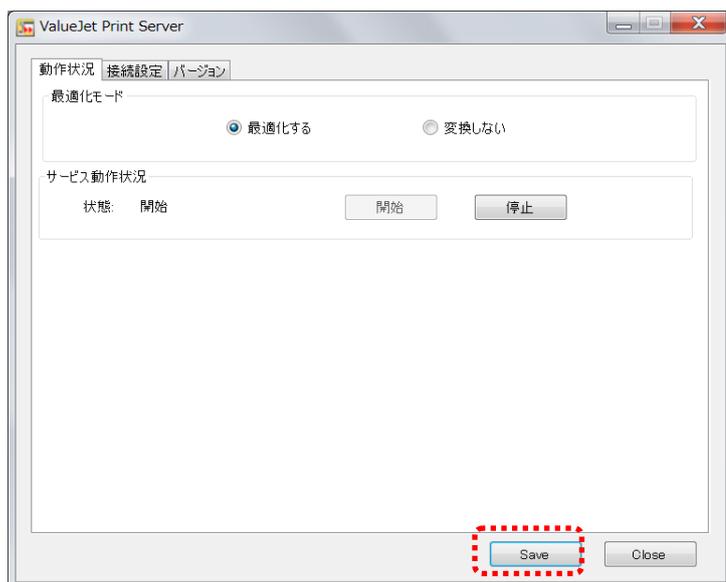
ValueJet Print Server の設定を変更する場合は、次の方法で設定画面を起動してください。

- [スタート] - [すべてのプログラム] - [Mutoh] - [ValueJet Print Server]
- [ValueJet Print Server Config] をクリック

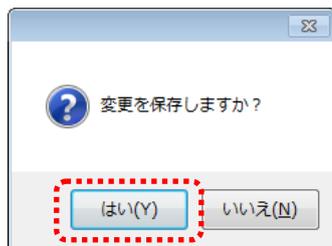
4-2 設定切り替え操作

本項目は、全ての画面で設定を変更した場合で共通の操作になります。

設定を変更する場合は「Save」ボタンをクリックしてください。



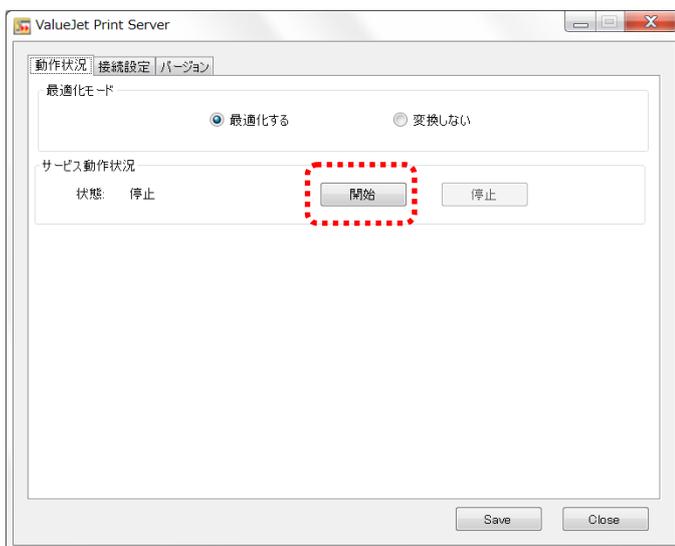
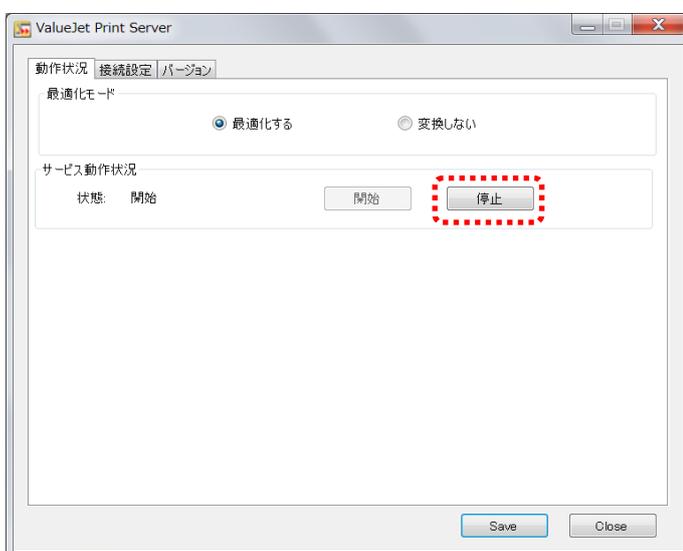
以下のダイアログで「はい」を選択すると設定が保存されます。



設定が保存されると以下の画面が表示されます。「OK」を押すと画面が閉じます。

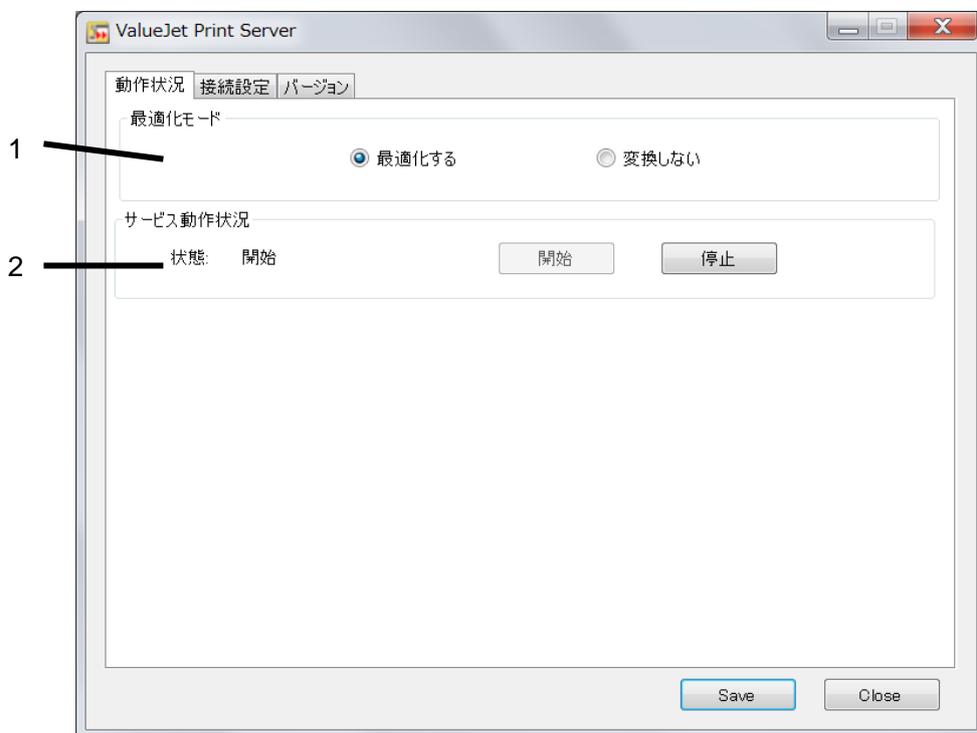


設定後は、「動作状況」タブで「サービスの動作状況」で「停止」→「開始」を順に選択するか、次回PC再起動時に反映されます。



4-3 動作状況タブ

ValueJet Print Server の開始および停止、最適化機能の設定を変更する際に使用します。



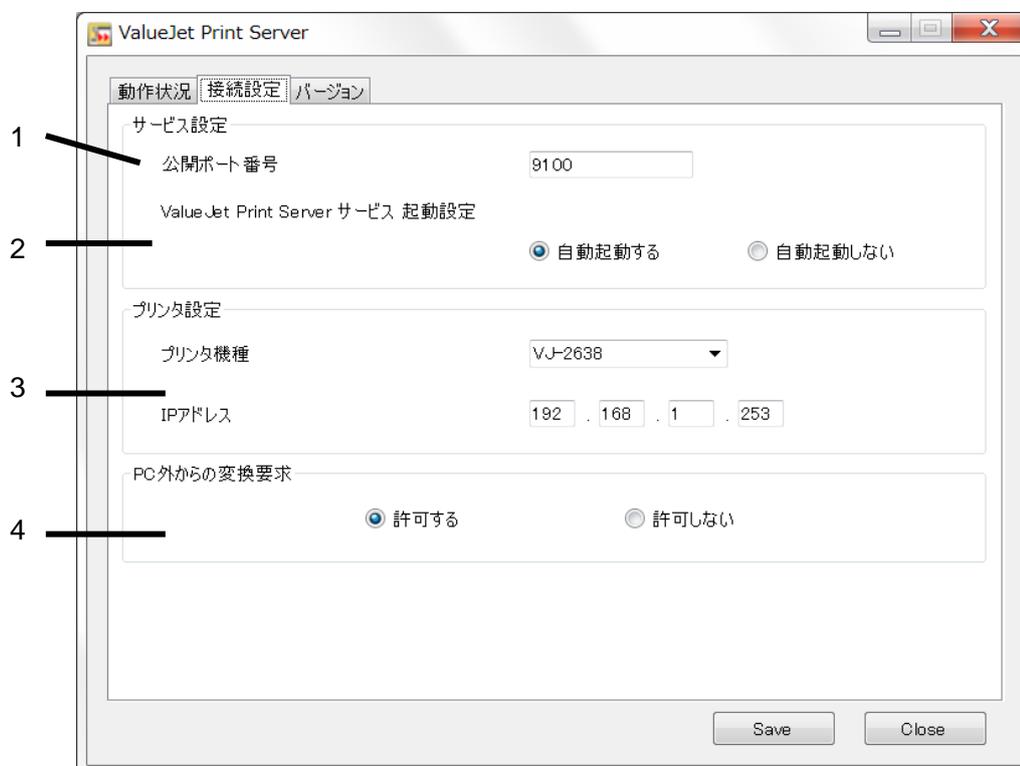
番号	名称	内容
1	最適化モード	「最適化する」の場合、ValueJet Print Server の処理を行います。 ValueJet Print Server で印刷できないデータが存在した場合は「変換しない」に切り替えてください。
2	サービス動作状況	ValueJet Print Server を手動で停止、開始する際に利用します。 状態が「開始」の場合、サービスは動作中です。 「停止」の場合、サービスは停止しています。

注 記

- RIP やプリンタを操作しても印刷が開始できなくなった場合は、ユーザーインターフェースを起動して「動作状況」タブの「停止」「開始」ボタンを順番に押し、ValueJet Print Server のサービスの再起動をお試しください。
- サービスが「停止」状態であった場合は「開始」の操作を行ってください。

4-4 接続設定タブ

プリンタの IP アドレスが変更になった場合等で利用します。



番号	名称	内容
1	サービス設定 公開ポート番号	コンピュータで他に 9100 を利用するプログラムが動作していた場合、ValueJet Print Server が利用するポート番号を変更する事ができます。この時 RIP の設定も合わせて変更する必要があります。RIP に付属のマニュアルをご参照ください。
2	サービス設定 ValueJet Print Server サービス起動設定	ValueJet Print Server の起動方法の設定です。 自動起動する：コンピュータの起動時に、自動的に起動します。 自動起動しない：設定ユーザーインターフェースから手動で起動します。
3	プリンタ設定	プリンタ機種 …プリンタの機種を選択します。 IP アドレス … プリンタの IP アドレスを変更する場合に使用します。
4	PC 外からの変換要求	別の PC で動作している RIP の印刷を許可する設定です。 許可しないにすると、別の PC からは印刷できなくなります。

5 制限事項

本アプリケーションを使用する際の制限事項、ValueJet に直接印刷する場合との差異について説明いたします。

5-1 RIP と分光光度計(SPECTROVUE)を組み合わせてご利用の場合

分光光度計を利用する際、RIP と ValueJet は直接の通信を必要とします。

RIP の IP アドレス指定を ValueJet の IP アドレスに書き換え測色操作をしていただき、作業終了後再度 ValueJet Print Server に戻して利用ください。

設定方法については RIP に付属のマニュアルをご参照ください。

弊社 ValueJet Status Monitor(VSM)から分光光度計を操作する場合は、設定を変更せずにそのままご利用いただけます。

6 トラブルシューティング

この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。

本項目は、機体のウォームアップが完了している状態での記載です。

6-1 設置・導入時のトラブル

(1) 設定が終わったが、印刷ができない。

1: 接続先の ValueJet のファームウェアが以下のバージョンである事をご確認ください。

VJ-2638, VJ-1638, VJ-1638W FW 2.06 以降

2: 印刷できない時のパネルの状態と対処方法は以下の通りです。

状態1: “サクガデキマス”

以下の IP アドレスの設定をご確認ください。

– “ValueJet Print Server”の設定

4-4 接続設定タブ

ここには ValueJet の IP アドレスを設定します。

– “ソフトウェア RIP”のプリンタ設定を確認する。

ここには “ValueJet Print Server” をインストールした PC の IP アドレスを設定します。

RIP に付属のマニュアルをご参照ください。

(マニュアル通り設定した場合、RIP をインストールした IP と同一です)

状態2: “サクガデキマス”

状態1の設定が正しい場合は、“ValueJet Print Server”が動作しているか御確認ください。

4-3 動作状況タブ

状態3: “ジュシンチュウ”

Windows ファイアウォール の設定をご確認ください。

詳細は「ValueJet Print Server インストール手順書」をご参照ください。

注 記

- ネットワークへのアクセスの制限や、切り替えを行う常駐ソフトウェアの影響である場合があります。導入されているソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。
- ソフトウェア RIP のプロトコル設定が原因である場合があります。詳細は“ValueJet Print Server インストール手順書”の“ソフトウェア RIP の設定”をご参照ください。

(2) 現在、直接印刷しているのか、“ValueJet Print Server”が使われているのか区別する方法を知りたい

1: 印刷開始直後の状態をご確認ください。

パネル表示が“ジュシンチュウ”になり、しばらくしてからプリンタが初期化動作を行う場合は“ValueJet Print Server”です。

パネル表示が“サクガチュウ”になり、同時にプリンタが初期化動作を行う場合は直接印刷です。

2: “ValueJet Print Server”がインストールされているコンピュータのコマンドからも確認できます。

例)

Machine	Name	IP Address	Note
PC	PC123	192.168.1.100	RIP と ValueJet Print Server をインストールした PC
ValueJet	-	192.168.1.253	VJ-2638

(網掛けの数字 部分は実行の都度変化します)

“ValueJet Print Server”の場合

```
C:¥>netstat
アクティブな接続

```

プロトコル	ローカルアドレス	外部アドレス	状態
TCP	PC123:1077	192.168.1.100:9100	ESTABLISHED
TCP	PC123:9100	192.168.1.100:1077	ESTABLISHED
TCP	PC123:1078	192.168.1.253:9200	ESTABLISHED

直接印刷の場合

```
C:¥>netstat
アクティブな接続

```

プロトコル	ローカルアドレス	外部アドレス	状態
TCP	PC123:1076	192.168.1.253	ESTABLISHED

6-2 作画に関するトラブル

(1) ValueJet Print Server を使用していなかった時と、印刷結果が異なる。

1: 本アプリケーションの制限事項に該当しないかご確認ください。

5 制限事項

(2) 今まで印刷できていたのに、突然印刷できなくなった。

1: “ValueJet Print Server”の再起動をお試しください。

4-3 動作状況タブ

2: パネル表示が“サクガデキマス”に戻らない場合は ValueJet も再起動してください。

ValueJet 付属の取扱説明書の「トラブルシューティング」もご参照ください。

3: 1,2 で解消しない場合は、RIP やコンピュータも含め再起動をお試しください。

MUTOH